

繁殖成績を改善するために

事業部診療課 損防検診室
獣医師 岩田宣威

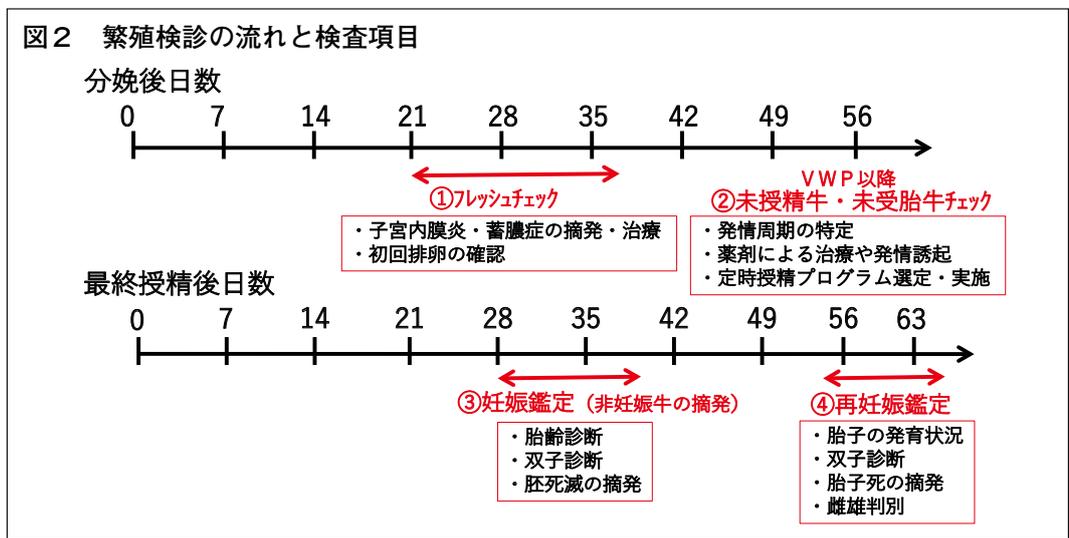
当組合では、家畜群疾病情報分析管理事業（乳牛繁殖管理）として、令和2年10月現在91戸の組合員さんと契約し、繁殖検診を実施しています。

繁殖検診の目的は、①農場の現状を把握し、問題点を見つけて出すこと②問題点を改善し、事故を減らすこと③繁殖成績を向上することにより、農場経営を改善・安定させることです。

繁殖検診では、組合独自開発の繁殖管理ソフト（NBMS: Nosai Breeding Management System）を使用しています。このNBMSは授精情報や分娩情報が自動入力され、繁殖診療受診簿（検診牛リスト）（図1）が作成できます。また、各種一覧・グラフ、レポー

図1 繁殖診療受診簿（検診牛リスト）

検診番号	検診種別	最終分娩日	最終授精日	検査項目	検査結果	備考
1	0844	20/05/23 (137)	5	20/09/08 (29)	2	2.75
2	0856	20/04/07 (183)	5	20/08/02 (66)	2	3.0
3	0866	20/06/03 (126)	5	20/08/08 (60)	1	Day
4	0944	20/09/09 ()	4	20/09/09 ()	4	Day
5	0946	20/09/04 (33)	3	20/08/12 ()	4	3.5
6	0993	20/08/03 (65)	3	20/09/24 ()	3	3.5



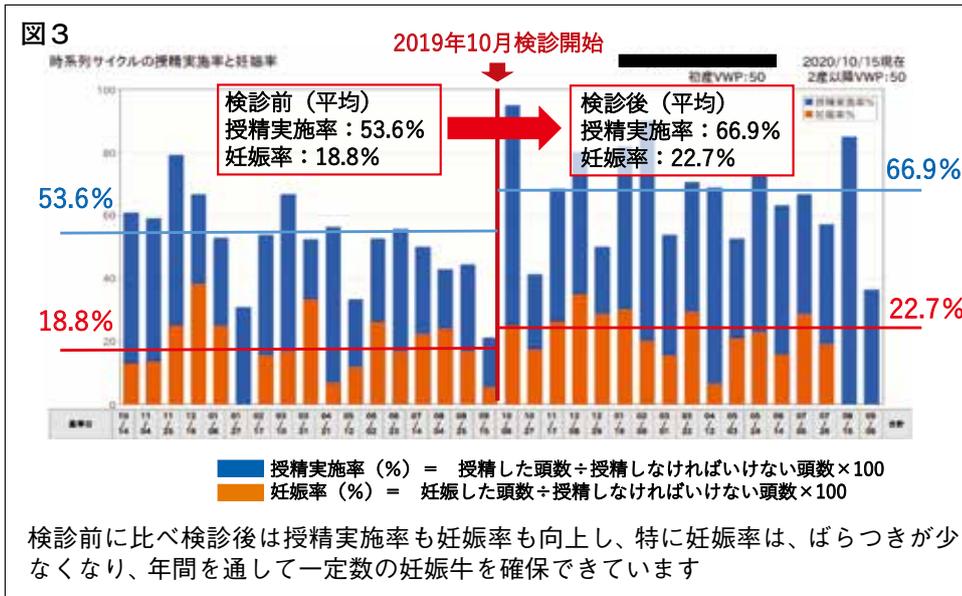
ト、カレンダーなどを出力できる機能があり、契約組合員さんに繁殖成績の分析や繁殖情報の提供が可能となっています。

基本的には隔週（農家さんによっては毎週）で実施しています。診療所やセンターによって異なりますが、お伺いする獣医師は固

定し、担当制をとっていることが多いです。検診日は担当獣医師と相談により決定し、検診前日に繁殖診療受診簿をFAXします。そのリストを見ながら検診を進めていき、検診終了後は、検診結果・費用、繁殖成績・情報などをFAXにて報告しています。農家さんには検診時に必ず立ち会っていただくこと以外、検診結果のNBMSへの入力等をやっていただくことはほとんどありません。

繁殖検診の流れと検査項目(図2)

①フレッシュチェック②未授精牛・未受胎牛チェック③妊娠鑑定④再妊娠鑑定があります。これらすべての項目を検査しなければいけないわけではありません。担当獣医師と相談の上、必要な検査項目を決定します。



このように定期的に担当獣医師が伺い、農家さんと一緒に検診を進めることで、繁殖のことだけでなく、乳房炎・蹄病・飼料などいろいろな話しがしやすくなります。また繁殖検診

では、すべての診断に超音波診断装置(エコー)を使用し、処置を行っていくことで、繁殖成績の改善(図3)から経営状況の改善(図4)に繋がっていきます。

図4 繁殖成績改善から農場経営改善への簡単な一例

分娩間隔430日(空胎日数145日)の農場が目標である分娩間隔400日(空胎日数115日)に改善した場合

空胎日数が115日を過ぎると1日で1,200円の損失と試算されている。

$(145日 - 115日) \times 1,200円 = 36,000円$ の利益

牛群が100頭なら、 $36,000円 \times 100頭 = 3,600,000円$

牛群として年間3,600,000円の利益となる。

利用料金(図5)

1年契約で病傷給付の対象にはなりません。すべて事故外請求となります。前記の検査項目すべてを繁殖検診ではなく一般診療(保険)で実施しようとすると、病傷事故給付基準に

図5 利用料金

～契約時のみに掛かる費用～

システム利用料: 30,000円/年
(年度途中の契約の場合は月割りで徴収。解約の場合も月割りで返還します)

～検診毎に掛かる費用～

往診料: 390円

検査料: エコー検査の場合 → 検査頭数 × エコー検査料 (2,600円)
直腸検査の場合 → 検査頭数 × 直腸検査料 (1,880円)
エコー検査による妊娠鑑定料 (2,600円)
直腸検査による妊娠鑑定料 (940円)

処置料: 注射・挿入・注入等の技術料 + 使用薬剤費

該当せず保険が使えない検査や処置が多くあります。そのため、かなりの額の事故外請求となり、結局繁殖検診利用料金と遜色ない額になってしまいう可能性があります。また繁殖障害治療が過去2年間連続して頭数

- ◆ 釧路東部事業センター (姉別: 0153-68-6344) 大塚
- ◆ 根室南部事業センター (0153-74-0543) 成澤
- ◆ 根室西部事業センター (0153-77-5201) 三宅
- ◆ 根室北部事業センター (0153-79-8602) 岩田

被害率で40%以上になると繁殖病傷給付制限組合員に指定され、ますます病傷給付が厳しくなります。

今回は繁殖検診を紹介する第一回目として、総論的なことを紹介させていただきました。次号では実際のエコー画像など添えてエコー技術の詳しい紹介をします。グラフ等の説明、成績改善例も今後紹介する予定です。ご興味のある方や話を詳しくお聞きになりたい方がいらっしゃいましたら、検診室所属獣医師までお問い合わせください。